

古河電気工業(株) 第199回定時株主総会 主な質疑応答録(要旨)

※要旨公開にあたり、趣旨が明確となるよう()書きにて補足させていただいている箇所がございます。

※本総会では、総会会場でお受けするご質問とは別に、事前にインターネット上でご質問をお受けし、総会会場において事前質問のうち関心の高かったご質問についてご説明いたしました。

日時：2021年6月24日(木) 10:00~10:51

Q(事前質問)：当社従業員の新型コロナワクチン接種について

A：新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ワクチン接種が進むことが望ましいと考えている。従業員がワクチンを接種する場合には、接種1回につき1日の特別休暇を付与するなど、ワクチンを接種しやすい環境を整備することで、引き続き従業員の安全・健康を確保していく。職域接種については、感染率の高い地域に所在する生産部門を持つ事業所を優先対象として、開始する準備を進めている。

Q(事前質問)：DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組みについて

A：1つ目としては、社会課題をDXで解決するために、当社の技術・製品で支える、あるいは当社の技術・製品が活用される取組みがあげられる。

2つ目としては、社内におけるDXに関する取組みがある。withコロナの中、当社の丸の内本社では緊急事態宣言中の出勤率を最低6%まで下げ、こうした環境下でリモートワークが進み、これを支えるためのICTインフラ構築は、我々の働き方を大きく変え、その中でDXも進んできた。

これらに加え、昨年度設置したデジタルイノベーションセンターでは、社内の人材を集約するとともに、ものづくり革新と新たなコトづくり創出、デジタル人材育成に取り組んでいる。

Q：社外取締役や女性の役員登用等による取締役会・経営会議の雰囲気の変化について

A：取締役会については、12名の取締役のうち5名が独立社外取締役、7名が社内取締役であり、社内取締役のうち1名は社外から当社に入社した者という構成である。執行役員も2名が社外から当社に入社した者である。必要な人材に、当社が成長するためにいろんな意見を言ってもらっている。

社外取締役には、当社グループの歴史や創業者である古河市兵衛からつながるDNAについて知っていただいているが、決して迎合することなく、それぞれのご経験を踏まえて厳しいご意見をいただきたいとお願いしている。私たちはそれを真摯に受け止め、成長し続けなければならないという信念を持っているので、いろいろなお意見は受けるが非常に雰囲気の良い取締役会だと思っている。

経営会議では、終了直後に経営会議メンバー同士でその日の会議でのお互いのふるまいや議事進行について意見を出し合う場を設定することで、全体で成長するよう進めている。経営会議メンバーは非常に活発に発言して議論をつくり、決定したことについては全員が当事者意識を持って進めるという、チームとして動くことができていると考えている。

Q：株主総会の事前登録制について

A：緊急事態宣言後という状況を踏まえ、株主の皆様をお集めて密集の状態にすることは決して正しいことではないと考え、当社としては事前登録をお願いして抽選制にすることとした。

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、会場の席の間隔を広げ、席数を50席に限定した。席数を超える多数の株主様が来場された場合は、結果として密集となり感染予防ができなくなる恐れがあるため、抽選により当選された50名の株主様にご出席いただくという方法をとった。

以上